

# 「市民意向調査」結果と市政への反映



## 市民意向調査とは

市民意向調査は、本市の目指す都市像「だれもがほっとできるまち真岡」の実現のための基本計画である、第10次市勢発展長期計画「ベリー・HOT・HOTプラン」に掲げる施策の成果指標として、市民の皆さまの意向等を把握するため、毎年実施しているものです。

設問は85問あり、まちづくり、生活環境、公共交通、地域づくり、地域活動、福祉、医療、子育て支援など、幅広い分野にわたっています。

市民意向調査の結果がまとまりましたので、その結果の一部と結果に関連した市の事業を紹介いたします。

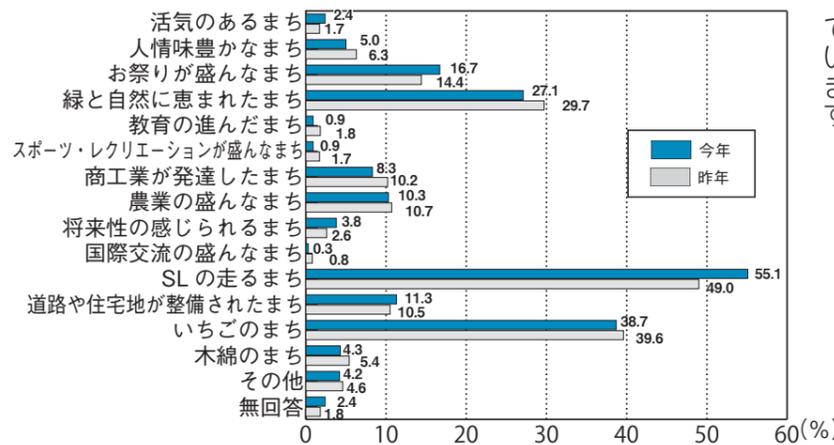
※グラフの%表記については、小数点第2位を四捨五入した値であるため、合計が必ずしも100%になるとは限りません。

- ◆調査の概要
- 【地域】真岡市全域
- 【対象】満18歳以上の市民 3千人（無作為抽出）
- 【時期】平成25年4月～5月
- 【方法】郵送調査法
- 【回収数】12,755票
- 【回収率】42.5%

## 調査結果報告

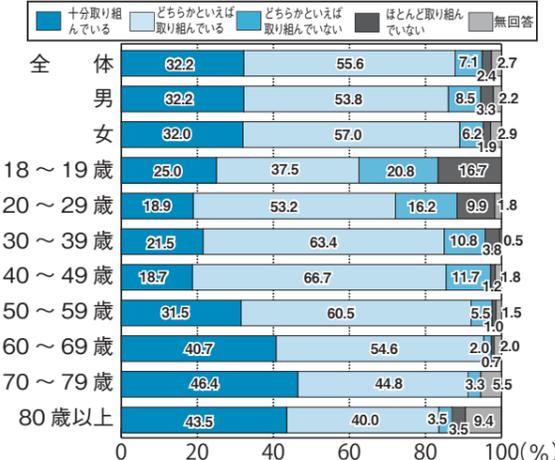
### 真岡市のイメージ

真岡市に、現在どのようなイメージを持っているかという質問では、「SLの走るまち」が55.1%で最も高く、昨年と比較して1.7%増加し、次いで「いちごのまち」が38.7%と高くなっています。



### ごみの分別・減量化

家庭でごみの分別と減量に取り組んでいるかという質問では、「十分取り組んでいる」が32.0%と高くなっています。次いで、「つい後回しになってしま



### 地域の公共交通

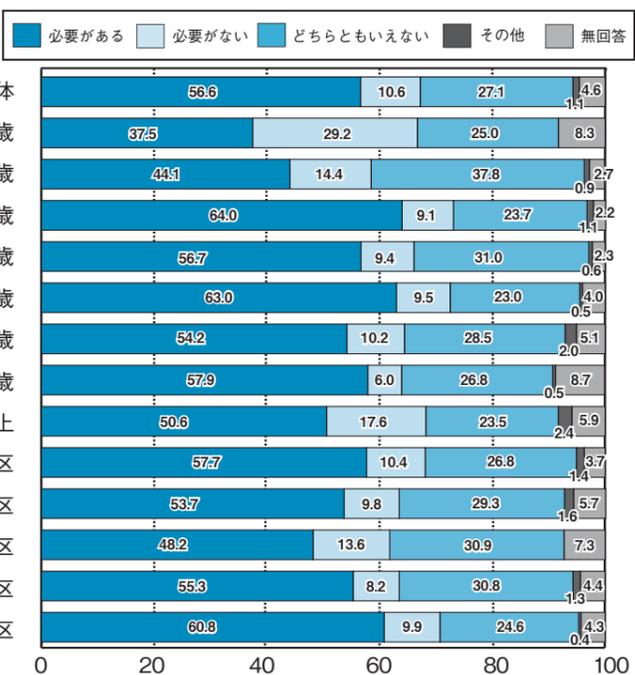
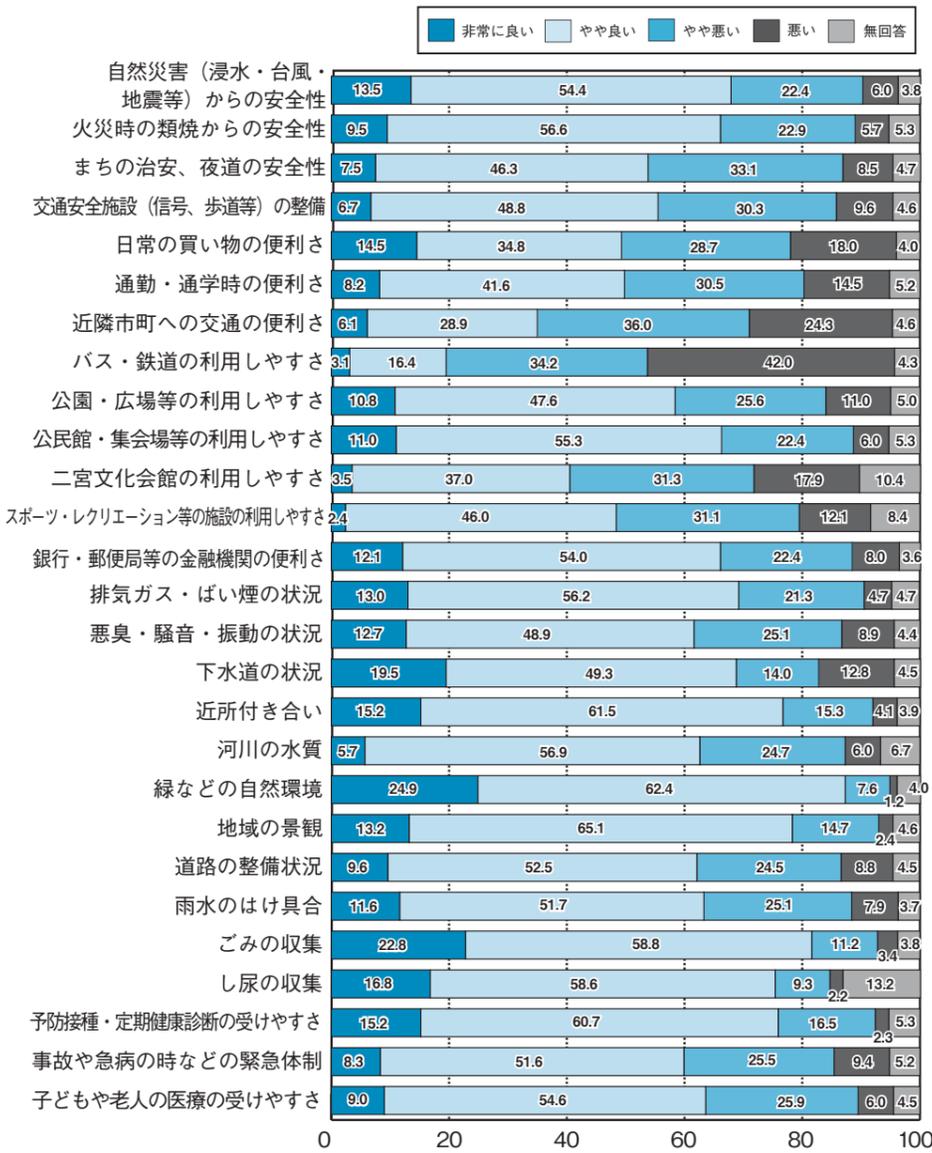
路線バス・鉄道のほかに、コミュニティバスやデマンドタクシーなどの新たな公共交通を設ける必要があるかという質問では、全体で56.6%の方が「必要がある」と回答しており、年齢別では30歳代の方が64.0%、地区別では二宮地区が60.8%で最も高い結果となりました。

そして「新たな公共交通の必要がある」と答えた方に「その理由は何ですか」と聞いたところ、「交通弱者の足の確保」が71.6%、次いで「既存の路線バス・鉄道は不便」が20.5%となりました。

### 住んでいる地域の生活環境

住んでいる地域（町会）の生活環境に関する質問では、「非常に良い」、「やや良い」を合わせた、ほとんどの項目がおおむね5割を超えています。

しかし、「バス・鉄道の利用しやすさ」については、「非常に良い」、「やや良い」と答えた人の割合が19.5%となり、昨年より3.2%増加しているものの、特に満足度の低さが目立っています。次いで、「近隣市町への交通の便しさ」については、「非常に良い」、「やや良い」と答えた人の割合は35.0%となり、2番目に満足度が低い結果となりました。



## 意向調査結果に関連した事業の紹介

### SLの走るまち

「SLの走るまち」というイメージをさらに広げるため、真岡市では、現在「SLの走るまち拠点施設運営事業」を行っています。昨年度から真岡駅東口に整備を進めていた、SLの走るまち拠点施設「SLキューロク館」が4月28日にオープンし、情報センター4階のSLギャラリーや、屋外展示車両などと併せて、真岡駅全体を楽しめることができるようになりました。



▲ SLキューロク館オープンイベントの様子

開館当日はさまざまなイベントが開かれ、多くのSLファンや家族連れが足を運び、終日に

ぎわいました。今後もさまざまなイベントを開催する予定です。

この事業により、県内外から本市へ多くの方にお越しいただくことで、観光の振興と交流人口の増加を図ります。また、市民のくつろぎの場および親子の交流の場となるように整備し、周辺地域のにぎわいを創り出します。

【問い合わせ】企画課企画調整係  
☎83-18102

### ごみの分別・減量化

市では、ごみの減量化意識の向上と、資源化による循環型リサイクルの定着を図る必要があると考え、これまで、地域座談会などを通して、ごみの分別、雑紙のリサイクル、生ごみの水切りの徹底、堆肥化などを市民の皆さまにお願いし、ごみの減量化を推進してきました。

今回の調査で、「家庭でのごみ分別と減量への取り組み」については、約90%の方が何らかの取り組みを行っているという回答し、ごみの分別・減量化に関心が高いことが分かります。

### もえるごみの有料化

新しい広域ごみ処理施設（芳賀地区エコステーション）の建設にあたり、建設費とその後維持費を削減するために、1日の処理能力を180トンから143トンに縮小し、1市4町で平成27年度までに10%のごみを減量することを目標としました。

この減量目標を達成するとともに、さらなるごみの減量化を図るため、もえるごみの有料化を実施することとしました。

### 有料化の必要性

#### ①負担の公平化

ごみを多く出す家庭と少ない家庭の、ごみ量に応じた費用負担の公平化が図られます。

#### ②ごみ排出量の減少

各家庭においてごみの減量化意識が高まり、また、簡易包装製品や詰め替え製品を選択するなど、ごみの排出抑制につながります。

### 有料化で変わること

①有料化は平成26年4月1日から  
広域ごみ処理施設（芳賀地区エコステーション）の稼働と合わせた開始日です。

### ②もえるごみは指定ごみ袋で

他市町との区別ができるように、真岡市指定のもえるごみ用の袋ができました。  
黄色の半透明の手提げ袋タイプで、大きさは3サイズです。



袋のサイズ	価格(税込)
大袋 45ℓタイプ	一枚50円
中袋 30ℓタイプ	一枚30円
小袋 20ℓタイプ	一枚20円

### ③ボランティア袋

公共用地（道路や公園など）の清掃等のボランティア活動用として、半透明でピンク色の45ℓ相当の袋を作成しました。もえるごみ専用のボランティア袋として、自治会からの申請により無料で配布します。

もえるごみの有料化がスムーズにスタートできるよう、市が独自に実施している地域づくり事業において、市内すべての自治会を対象に7月から12月にかけて、説明会を実施しています。

また、もえるごみ用の袋については、そのサンプルセットを作成し、1月ごろから各世帯に配布予定です。なお、指定ごみ袋の販売開始は2月を予定しています。

【問い合わせ】環境課清掃係  
☎83-18126

### 新たな公共交通

「新たな公共交通の必要性」については、以前の調査でも要望の高い項目でした。

そのため「公共交通ネットワークの整備」を本市の重点施策と位置付け、平成23年11月から「アマンドタクシー」、愛称「いちごタクシー」の試験運行を開始、平成24年10月から、中心市街地内の病院や大型商業施設、公共施設等を巡回する「コミュニティバス」、「コットベリー号」の試験運行を行っています。

現在、いちごタクシー、コットベリー号の本格運行に向けて、利用状況等を十分に検証するとともに、利用者や交通事業者などのご意見を伺いながら、運行内容等の改善を図り、多くの皆さまに利用していただける公共交通ネットワークの整備を進めています。

### いちごタクシー

- ① 1乗車300円  
※小学生以下…200円  
※3歳未満…無料
- ② 自宅から目的地への送迎  
自宅から97力所の目的地への送迎を行います。(9月末日まで83力所)

### ③乗り合い

行き先が同じ方面の方と乗り合いで移動します。

### 利用方法

#### ①事前登録(無料)

利用には、市ホームページまたは公共施設にある「利用登録票」をメール・FAX・持参の方法で提出ください。電話による登録もできますので、企画課企画調整係に問い合わせください。



#### ②予約センターへ電話

利用日の2日前(運休日を除く)から運行時間の30分前までに、予約センターへ電話予約してください。

#### 【運行時間】

午前8時～午後5時  
※土・日曜・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は運休

#### 【予約センター】

☎81-5515

#### ■運行実績 (H25年8月31日現在)

【登録者数】 7196人  
【延べ利用者数】 2万9961人

### コットベリー号

いちごタクシーと併用することで、さらに効率よく移動できます。例えば、「いちごタクシー」を

利用して病院へ行き、診療が終わった後、買い物をするため「コットベリー号」

で移動し、買い物をした後、「いちごタクシー」を利用して帰宅することができます。



#### ①1乗車100円(3歳未満無料)

どなたでも利用でき、事前登録は必要ありません。

#### ②運行ルート・時刻表

市内公共施設にあるコットベリー号のパンフレット、もしくは市のホームページを参照ください。



#### ③運行の便数【1日16便】

右回り8便、左回り8便

※そのうち高勢町経由4便  
(右回り2便、左回り2便)

#### ④運行時間 午前8時～午後5時

※1時間に2便程度  
※年末年始(12月29日～1月3日)は運休

#### ■運行実績 (H25年8月31日現在)

【延べ利用者数】 1万1309人

### 10月1日から 運行内容が一部変更になります

① いちごタクシー  
目的地は、介護施設や商業施設など14力所を追加して、全部で97力所になります。

#### ② コットベリー号

・停留所に「ベイスア」を追加します。設置場所は、並木町一丁目の「ベイスア真岡店の南側出入り口」の西側です。  
・時刻表の一部が変更になります。

【問い合わせ】企画課企画調整係  
☎83-18102

今後も「だれもが“ほっと”できるまち真岡」を目指し、市民の皆さまと行政が一体となったまちづくりに取り組んでまいります。  
この調査は、次年度も実施する予定ですので、ご協力をお願いいたします。全ての調査結果については、市ホームページで閲覧することができます。  
【ホームページ】 <http://www.city.moka.tochigi.jp/>  
【市民意向調査に関する問い合わせ】  
企画課 企画調整係 ☎83-8102 FAX 83-5896